

科目・分野	週時間数	クラス	担当者	
理科	4	ABC	隅田 由香・西村 恵理	
目 標	身近な生物や現象の観察を通して、科学的な見方や考え方を養う。 基礎的な実験・観察の方法を身につける			
大切に育てたいもの	関心・意欲・態度	科学的思考力	実験観察技能	知識・理解
	自然の事物・現象に関心を持ち、科学的に探求し、人間生活とのかかわりで見ようとする態度	自然の事物・現象に問題を見だし、観察・実験を行い、事象や結果を分析して解釈し、表現する力	実験器具の使い方やスケッチの仕方など、基礎的な実験操作や観察技能を習得し、過程や結果を的確に記録・整理する力	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学変化と原子分子</li> <li>動物の生活と生物の変遷</li> <li>電気の世界</li> <li>天気とその変化</li> </ul> についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につける

学期	考查	学 習 内 容		学 習 の ね ら い
一学期	中間	1. 化学変化と原子・分子 ・物質のなり立ち	2. 動物の生活と生物の変遷 ・生物と細胞	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学変化を原子の結合の変化であることを理解する。</li> <li>動物と植物の細胞の特徴と違いについて理解する。</li> </ul>
	期末	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質どうしの化学変化</li> <li>酸素がかかわる化学変化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物のからだのつくりとはたらき</li> <li>動物の分類</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学変化を化学反応式で表すことができる。</li> <li>酸化と還元について理解する。</li> <li>動物の消化・吸収、循環・排出のしくみについて理解する。</li> <li>感覚器官と神経、筋肉・骨格のしくみを理解する。</li> <li>動物の特徴と分類について理解する。</li> </ul>
二学期	中間	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学変化と物質の質量</li> <li>化学変化とその利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の変遷と進化</li> <li>4. 天気とその変化</li> <li>気象観測と雲のでき方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>質量保存の法則、定比例の法則を理解する。</li> <li>生活の中での化学反応を知る。</li> <li>生物の進化とその証拠について理解する。</li> <li>気象条件と天候の関係について知る。</li> <li>飽和水蒸気量について理解し、露点と雲のでき方、水の循環について知る。</li> </ul>
	期末	3. 電気の世界 ・静電気と電流	・前線とまわりの天気の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>静電気による現象や電子のはたらきを知る。</li> <li>前線と天気の変化について理解する。</li> </ul>
三学期	期末	<ul style="list-style-type: none"> <li>電流の性質</li> <li>電流と磁界</li> </ul>	・大気の動きと日本の天気	<ul style="list-style-type: none"> <li>大気の変化と季節との関係を理解する。</li> <li>オームの法則、電力量と発熱量の関係を理解する。</li> <li>電気回路について理解する。</li> <li>電流と磁界の関係について理解する。</li> </ul>
評価の方法		定期テスト、小テスト、レポート、実験観察の技能 など		
学習活動の特徴		簡単な実験や観察を可能な限り多く実施する。 視聴覚機器をできるだけ利用する。		
授業の形態		一斉授業・講義・実験・実習など		
使用教科書		『新しい科学 2年』（東京書籍）		
使用副教材		『カラーブック理科資料』（東京法令出版）、『理科の自主学習2年』（新学社） 『ニューエンジョイプリント 理科2年』（教育同人社）		
用意するもの		教科書、ノート、資料集、問題集		
備 考		授業は週2時間ずつに分けて2つの単元を同時進行する。		